

# Business Report

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
  
- 株主名簿管理人 その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (通話料無料)
- 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店  
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。  
電話 (通話料無料)  
0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)  
インターネットホームページ  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
  
- 単元未満株式の買取請求 単元未満株式の買取りは上記の株主名簿管理人事務取扱場所及び取次所で受け付けております。(株券保管振替制度をご利用の方は、お取引証券会社へお申し出ください。)
  
- 公 告 方 法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
(<http://www.teikokudenki.co.jp/>)

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.teikokudenki.co.jp/>



株式会社 帝国電機製作所

〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地  
TEL 0791-75-0411

株主のみなさまへ

第104期 年次報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



株式会社 帝国電機製作所

## 当社の強み

- キャンドモータポンプで世界及び国内No.1のシェア
- 高い競争力を誇るテイコク独自のオンリーワンの技術力
- 石油化学プラント、JR新幹線や原子力発電所などに高い採用実績

## 業績ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
16,976 百万円	1,894 百万円	1,782 百万円	1,038 百万円	111.72 円
↑ 11.6% UP	↑ 9.2% UP	↓ 0.8% DOWN	↑ 0.6% UP	119.55円 (前期)

### ● 5期連続の増収ながら経常減益

売上については、主力のポンプ事業が国内市場・海外市場とも好調に推移し、増収利益面においては、原材料高や急激な円高の影響を受け、経常減益

## 当期トピックス

- 関西ノムラ資産管理フェア2008に出展
- 当社100%出資子会社の株式会社平福電機製作所が新工場を建設
- ふれあいフェスティバル2007に出展
- CHEM MIDDLE EAST 2008 in U. A. E.に出展

## 積極的な海外戦略を展開し 企業価値の向上に努めてまいります。

当連結会計年度における世界経済は、期前半は好調な企業業績を背景とした設備投資の増加等により概ね堅調に推移しましたが、期後半はBRICs等の一部の地域では依然として高い経済成長を保っているものの、米国でのサブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱や原油を始めとする原材料価格の高騰等により、世界経済全体としては景気に減速感が始まっております。また、わが国経済においても、原油・原材料価格の高騰や急激な為替変動など、景気の先行きに不透明感が増してまいりました。このような状況の中で、当社グループ（当社及び連結子会社）は「一致団結－再チャレンジ100－」をスローガンに、単体での受注100億円達成を目標に、従業員一同一致団結して取り組んでまいりました。また、前連結会計年度に引き続き積極的な海外戦略を展開し、北米でのキャンドモータポンプ市場の拡大を目指した米国子会社TEIKOKU USA INC.の営業力強化、中国子会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司の営業力強化・管理体制の拡充等を推進してまいりました。また一方、国内においてはユーザーとの継続的な信頼関係の強化に努め、市場及び顧客ニーズを収集した提案型営業を展開するとともに、原価低減、技術開発、品質向上、生産性向上、サービス体制拡充等経営体質の強化に努めてまいりました。この結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、主力のポンプ事業が国内市場・海外市場とも好調に推移したことを主因に、売上高は169億76百万円（前連結会計年度比17億61百万円増加、11.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は18億94百万円（同1億59百万円増加、9.2%増）、経常利益は17億82百万円（同14百万円減少、0.8%減）、当期純利益は10億38百万円（同5百万円増加、0.6%増）となり、原材料高や急激な円高の影響を受ける結果となりました。今後とも株主の皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 宮地國雄

平成20年6月

# 「製品」ではなく、「技術」を売る。あらゆる顧客ニーズに対応できる ノウハウと技術力を強みに、さらなる世界シェアの向上を目指します。



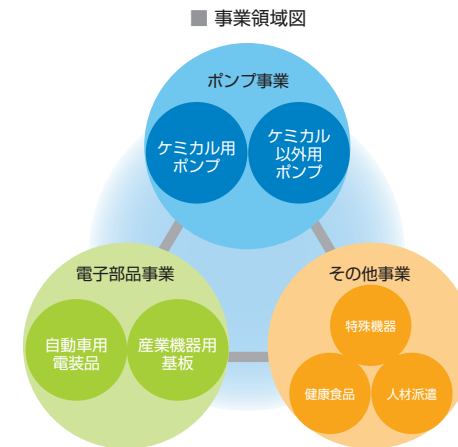
## 「一意専心」を新しいテーマに。

再チャレンジならず—当期を総括すると、この言葉に尽きます。長年の懸案であった単体での受注100億円に初めて挑戦してから6年、機は熟せりと、第104期は、再度単体での受注100億円をめざしました。ところが、夏場以降、サブプライムローン問題に端を発し、原材料高、建築確認の遅れ等の影響もあり、企業の設備投資が急速に減速、残念ながら目標には届きませんでした。

しかし私達はチャレンジの旗を降ろすわけではありません。心を一つにして、他のことに惑わされず一心に高い目標に向かっていかなければなりません。そこで第105期は、「一意専心」という新しいテーマを掲げ、走り出した次第です。原価低減・経費節減努力の結果、収益内容の改善が進みつつあります。今後は量の問題です。受注が予想通り伸びてくれるかどうか。そのために、既存及び新分野に、新製品あるいはバリエーションを広げた製品の積極投入を図り、全体のボリュームを増やしたいと考えています。

## 中国、アメリカを海外戦略の両輪に、EU市場へ本格攻勢。

当社は、キャンドモータポンプの市場を開拓・拡大していくことを目指し、積極的な海外戦略を展開しています。その両輪となるのが、中国とアメリカです。このうち中国については、現在、フル操業状態が続いています。中国4大空調メーカーが吸気式の冷凍機分野で当社製品に切り替えたのをはじめ、中国全土での新型高速鉄道車両への搭載、シリコン精製用プラント工事、変圧器用油ポンプの独占供給など、大型案件が目白押しとなっています。子会社の大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が、今年の年間計画の半分を早や3ヶ月で達成するなど、予想を大きく上回るペースで業績が伸びており、現在、設備投資による増産体制の早期確立を指示しているところです。またアメリカについては、代理店方式で販売を行っていますが、主要な代理店に対しては日本で再教育を行い、当社製品に対する知識を深めてもらいました。ここにきてアメリカ経済には不透明感が見られますが、子会社のTEIKOKU USA INC.自体は、毎年順調に伸びており、現在のところあまり影響を受けていません。アメリカ独特の冷凍倉庫などを冷やすアンモニア冷媒用途を



はじめ、バイオディーゼルなど代替燃料用途が拡大しており、また、アメリカは産油国でもあり、ケミカル関係の需要も活発です。原子力発電所についても、開発計画が一気に進むなど、キャンドモータポンプが拡大していく余地は大きいと考えています。次に、ヨーロッパですが、当社が平成14年から現地法人を構えるドイツは、ライバルメーカーの本拠があり、なかなか開拓が進まなかったのですが、ここにきてようやくこれまでの努力が実を結びつつあります。当社は、平成16年に、ヨーロッパにおける防爆の標準規格であるドイツPTBより、自社設備を使用した自主防爆試験に対する認定を取得し、自社でPTB防爆認定ができるようになり、一つの関門を突破。EU諸国に代理店網を構築しつつあります。それから、韓国では、平成17年に開設した現地法人の営業活動が軌道に乗ってきたことにより、お客様からの引き合いがくるようになり、業績が伸びてきました。このほか、元気な東南アジアを束ねるシンガポール、原油売りから付加価

## ポンプの常識を変えた「超」技術の世界。 テイコクの新しい挑戦が、いま始まります。

値の高い石油化学工業への展開を目指すロシア、そして中東など、今まではグローバルといっても局所的な展開にとどまっていたが、面に広げることにより、真の意味でのグローバル企業を実現したいと考えています。

### 世界市場で圧倒的な技術の優位性、 対応力を背景に。

当社は、キャンドモータポンプ一筋に約半世紀にわたっ



て事業を展開してきました。その間、あらゆる客先のニーズに応じて、失敗を重ね、お客様と一緒に悩み、苦しみ、それを解決してきました。こうした積み重ねにより、今では、ほとんどの液体に対応できるノウハウを持っています。また高温・高圧など特殊な仕様の豊富な実績も持っています。こうした圧倒的な技術力、対応力が、大小さまざまな種類の引き合いが通例のプラント工事においても、一括受注というビジネススタイルを可能にしています。現在、キャンドモータポンプの世界市場では、日本やドイツの会社が常に競合していますが、当社がトップメーカーとして約40%のシェアを抑えています。

### 超大型、高温、高耐圧分野を 開発のテーマに。

当社の積極的な海外戦略を支え、完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」をコア事業に、技術開発型企業である当社の根幹を成しているのが、新製品開発と新しい用途開発です。その開発のテーマの一つが、いわゆる超大型、高温、高耐圧といわれるマクロ分野と、その対極にあるミクロ分野です。特に海外市場では、大容量の大型機の要求が多く、こうした声に応じて、

従来のモーター出力限界をはるかに超えた大出力キャンドモータポンプの開発に着手しました。また、一方で、ミクロ分野では、今まで作っている一番小さい小型軽量、超高効率のキャンドモータポンプのミニチュア版開発を進めており、マクロとミクロの双方に研究開発の領域を広げています。このほか、キャンドモータを利用した攪拌機、及びリアクター（反応釜）の用途開発を積極的に進めており、マイクロバブルエアレータ等の新製品は展示会でも大きな注目を集めました。現在、超大型機の開発試験設備を備えた技術開発センターを、子会社である上月電装株式会社の新工場に隣接して建設しており、この秋には完成する予定です。これにより、マクロ分野からミクロ分野まで、ほぼ網羅できる見込みとなります。

### 効率的な生産体制を構築。

現在、当社では、第105期の受注目標として掲げた単体での受注105億円達成に向けて、生産能力の面で確実に対応するために、社内及び関連会社の整備を進めています。まず本社周辺でポンプ関連の部品、製品を



製作する株式会社帝伸製作所、株式会社協和電機製作所、上月電装株式会社など関係子会社の生産能力を引き上げ、完成部品の供給拡大を図っています。また、現在の原材料高を吸収するために、本社は付加価値の高い生産組立ラインと大型機の特種加工に生産機能を特化し、それ以外の小口部品は子会社というように生産品目の振り分けを行い、社内生産コストの引き下げによる効率的な生産体制の構築を目指します。関連子会社のうち、現在ある上月電装株式会社の工場については、建築年数も古く、敷地も狭小なところから移転を計画しており、この秋には完了する予定です。それによって、コスト競争力に優れた生産体制が構築できるものと考えています。

株式会社帝国電機製作所は、株主様にとって末長くお付き合いいただける会社となるよう、より一層精進を重ねてまいります。

## 特集

# さまざまな産業機器やプラントの心臓部として、 当社キャンドモータポンプは活躍の場を広げて います。

完全無漏洩のキャンドモータポンプは、石油・化学、食品、空調、冷凍、半導体、液晶、エネルギー、鉄道など、実に多くの製造機器・製品に使用されており、間接的・直接的に私たちの暮らしに関わっています。

## ケミカル用モータポンプ

## ケミカル機器モータポンプ

石油・化学プラント向けはもちろんのこと、それ以外にも食品、製薬、繊維、塗料、化粧品などさまざまな分野の工場で、液状の製品や原材料を移送したり、ボイラーの油や熱水を循環させたり、製品を冷却するための冷却液を循環させたり、廃液を移送したりと多用途に使われています。ポンプの形状も多種多様で、まさにフルオーダーメイドの実力が試される分野です。



## LPG機器モータポンプ

タクシーや一部の商用車がLPG（液化プロパンガス）を燃料として走っているのはご存知でしょうか。そのLPG車が燃料補給するLPGスタンドで当社のLPG機器モータポンプが使われています。



## 冷凍機・空調機器モータポンプ

多くのビルや大型施設には、吸収式冷暖房機が使用されています。吸収式冷暖房機は、ビルの屋上や地下にその設備があり、普段目にすることはありませんが、施設全体の空調機器として幅広く使われています。この吸収式冷暖房機に当社の空調機器モータポンプが使われています。また、冷凍倉庫等の冷却に使用されるアンモニア等冷媒液の循環にも当社のキャンドモータポンプが使われています。



## ケミカル以外用モータポンプ

## 半導体機器モータポンプ

半導体や液晶等の製造過程では、洗浄のために不純物を含まない純度の高い水（超純水）が必要となります。超純水の造り方は、水の不純物を取り除くために、水をRO膜と呼ばれる膜に加圧して通過させることによって造ります。この超純水を造るための装置に当社のキャンドモータポンプが使われています。



## 定量注入機器モータポンプ

定量注入機器モータポンプは、キャンドモータポンプ（モータを缶詰にしたポンプ）ではありませんが、当社のラインナップの一つとして取扱いをしています。石油・化学プラントや食品・製薬など、さまざまな分野で使われます。



## 電力関連機器モータポンプ

電力会社の変電設備や高速で走る新幹線には、何万ボルトもの電圧を使用電圧まで下げるために変圧器（トランス）が付いています。変圧器は、電圧を下げる際に大量の熱を発生するため、その冷却のために油（絶縁油）を循環させています。この絶縁油を循環させるポンプとして当社の電力関連機器モータポンプが使われています。使用液が絶縁油で電気を通さないため、モータはキャンド（缶詰）ではありませんが、完全無漏洩であるキャンドモータポンプの構造を応用した製品です。

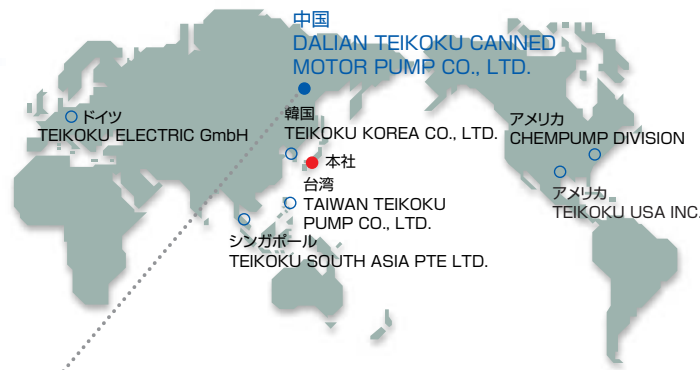


## 海外便り

## 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司

発展著しい中国東北部。  
経済文化の中心地「大連」。

大連帝国キャンドモータポンプ有限公司は大連市三澗堡工業科技園区に位置し、1994年9月に設立されました。2008年4月1日現在、資本金4,400万元、社員数435名で、中国全土に17箇所の直営営業所を持っています。大連は中国遼東半島の最南端に位置し、有名な避暑地となっています。大連空港は、日本の9つの都市と直行便があり、東京、大阪、名古屋、福岡には毎日直行便があります。大連全体は落ち着いた町で、広場を中心に放射状に広がる町並みは整然として美しく、治安も良く、交通の便も良いので、生活するにはとても良い環境です。また、大連の人



達は情に厚く、大らかで気さくな人が多いです。日本から近いという地の利もあり、多くの日本企業が進出してきています。

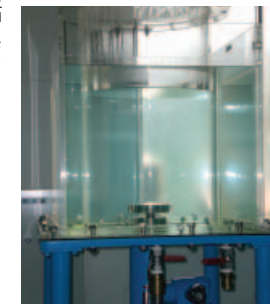
大連はサッカーの町とも言われ、国内プロサッカーリーグ14年間で8回制覇という強豪チームもあります。大きなイベントとしては、国際ファッション祭や花火大会、アカシア祭り、国際ビール祭り、国際マラソン大会等が毎年行われています。大連は林檎等果物の産地で、またナマコ、アワビ、ウニなどの海産物も名物です。大連の特色料理と言えば、新鮮な海鮮料理があります。大連の観光地としては浜海路、旅順、金石灘、氷峪溝等の観光名所があり、当社所在の旅順口区の主な観光地は、旅順港、白玉山、日露戦争の跡地である水師営会見所、203高地、東鶏冠山堡壘群など中国近代史に密接な場所があります。

中国経済の急速な発展に伴い、2003年から当社の受注も急増し、2007年の業績は最高となりました。2008年は機関車向けポンプと空調機器向けポンプ等の需要が引き続き旺盛であり、期待を持っています。2008年はさらなる飛躍のために社員一同一丸となって頑張ります。

## 新製品紹介 / New Products

## マイクロバブルエアレータ

テイコクキャンドモータエアレータで培った技術を結集し、先端技術として注目を集めているマイクロバブル発生装置、「テイコクマイクロバブルエアレータ」を開発しました。気泡径50マイクロメートル以下の微細な気泡を大量に発生し、気体を液体へ効率良く溶解することができるため、用途として高度な気液接触操作や化学反応操作、またマイクロバブルの特徴を活かした洗浄工程などが見込まれています。



## DCキャンドモータかくはん機

直流方式のキャンドモータかくはん機です。従来の交流方式では困難であった低速・高トルク運転が可能となりました。また、正逆反転運転にも対応しています。高粘度の液体を効率良く攪拌するためには、液槽全体が混ざるようにゆっくりと力強くかき混ぜる必要があります。従来の交流方式では回転数を変えるためにインバータを用いていましたが、インバータ制御では回転数を減速すると出力が落ちてしまうため、高粘度液の攪拌は困難でした。「テイコクDCキャンドモータかくはん機」は直流方式であるため低速・高トルク運転が可能であり、高粘度液の攪拌に期待が持たれています。もちろんキャンドなので完全無漏洩です。



## LEVEL UP

「テイコク技術」の今をアピール  
社内向け技術発表会を開催。

技術開発本部主催で3ヶ月に1回程度「技術発表会」が社内で開催されています。発表者各々の研究テーマに沿って、その内容や進捗度合いを発表する場となっています。自由参加となっていますが、毎回各部署から多数の社員が参加します。このような地道な研究活動が、新製品開発や既存製品の改良に結びついています。

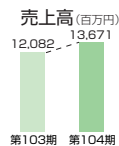
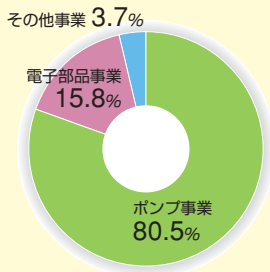


### 連結業績

当社グループの当連結会計年度の業績は、主力のポンプ事業が国内市場・海外市場とも好調に推移したことを主因に、売上高は169億76百万円（前連結会計年度比17億61百万円増加、11.6%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は18億94百万円（同1億59百万円増加、9.2%増）、経常利益は17億82百万円（同14百万円減少、0.8%減）、当期純利益は10億38百万円（同5百万円増加、0.6%増）となり、原材料高や急激な円高の影響を受ける結果となりました。

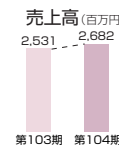
■ 事業別売上構成比



### ポンプ事業

ポンプ事業は、主力のケミカル機器モータポンプが国内外の石油化学業界の活発な設備投資やメンテナンス需要等により堅調に増加したことに加え、冷凍機・空調機器モータポンプが海外向けに好調であったこと等から、売上高は136億71百万円（前連結会計年度比15億89百万円増加、13.2%増）、連結売上高に占める割合は80.5%となりました。

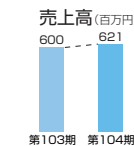
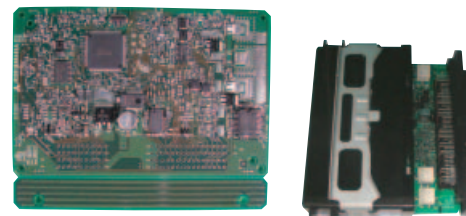
また、営業利益は、原材料高の影響はあったものの、売上増と販売費及び一般管理費節減の結果、16億6百万円（同62百万円増加、4.0%増）となりました。



### 電子部品事業

電子部品事業は、自動車用電装品の電子機器ユニットの国内外での需要が堅調に推移したため、売上高は26億82百万円（同1億51百万円増加、6.0%増）、連結売上高に占める割合は15.8%となりました。

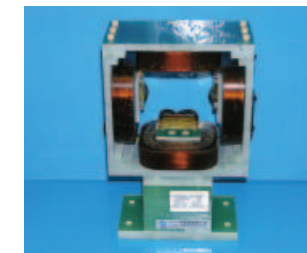
また、営業利益は、売上増と生産性の向上等により、2億31百万円（同72百万円増加、45.8%増）となりました。



### その他事業

その他事業は、熱交換器等の売上が好調であったことから、売上高は6億21百万円（同21百万円増加、3.5%増）、連結売上高に占める割合は3.7%となりました。

また、営業利益は、売上増と生産性の向上等により、56百万円（同24百万円増加、75.7%増）となりました。



## Topics

### ■ 関西ノムラ資産管理フェア2008

平成20年2月15日・16日の2日間、京セラドーム大阪にて開催された「関西ノムラ資産管理フェア2008」に弊社ブースを出展しました。2006年に初出展して以来、今回で3回目の出展となります。製品紹介パネルやポンプ本体を展示させていただきましたが、特にポンプ本体には多くの方が興味を示し



てくださいました。当日は、弊社ブースに多数の方々にご来場いただきまして誠にありがとうございました。

### ■ 平福電機製作所新工場建設

当社の100%出資子会社である株式会社平福電機製作所が新工場を建設します。大型放射光施設（SPring-8）のある兵庫県の播磨科学公園都市内に建設されます。平成21年春に完成予定です。



### ■ ふれあいフェスティバル2007

平成19年10月27日・28日に、兵庫県県民政策部県民文化局ふれあいの祭典課主催で播磨科学公園都市内にて開催された「ふれあいフェスティバル2007」に弊社ブースを出展しました。子供たちが科学に興味を持てるよう、ポンプの原理を利用したさまざまなアトラクションを用意し、楽しく学べる展示をしました。



### ■ CHEM MIDDLE EAST 2008 in U.A.E

平成20年5月18日～20日の3日間、アラブ首長国連邦で行なわれた展示会「CHEM MIDDLE EAST 2008 in U.A.E」に、当社の提携先であるLEWA社とともに展示ブースを出展しました。期間中は、弊社ブースに世界各国のエンジニアリング会社や石油・化学メーカーの方々が多くご来場されました。



## ■ 連結貸借対照表

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,625,405	9,823,237
現金及び預金	2,554,781	1,616,063
受取手形及び売掛金	5,691,647	5,326,131
たな卸資産	2,910,448	2,425,542
繰延税金資産	351,741	362,499
その他	240,579	223,641
貸倒引当金	△123,792	△130,640
固定資産	5,678,871	5,408,292
有形固定資産	4,264,008	3,823,500
建物及び構築物	1,522,512	1,587,658
機械装置及び運搬具	1,097,556	865,822
土地	1,370,594	1,126,385
建設仮勘定	158,850	115,350
その他	114,493	128,283
無形固定資産	12,965	12,191
その他	12,965	12,191
投資その他の資産	1,401,897	1,572,601
投資有価証券	1,142,374	1,357,612
長期貸付金	22,341	25,739
繰延税金資産	159,915	80,279
その他	108,866	140,564
貸倒引当金	△31,600	△31,594
資産合計	17,304,277	15,231,530

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	4,265,689	4,537,528
支払手形及び買掛金	1,887,596	1,704,420
短期借入金	669,409	775,663
一年以内償還予定社債	40,000	80,000
一年以内返済予定長期借入金	72,711	193,966
未払法人税等	248,081	459,580
繰延税金負債	107,447	36,474
製品保証等引当金	12,271	17,151
賞与引当金	449,198	431,168
役員賞与引当金	30,000	26,000
その他	748,975	813,103
固定負債	914,762	1,202,382
社債	—	40,000
長期借入金	5,112	79,862
繰延税金負債	349	88,926
退職給付引当金	775,657	805,062
役員退職慰労引当金	58,596	136,985
その他	75,045	51,545
負債合計	5,180,451	5,739,911
(純資産の部)		
株主資本	11,829,397	8,957,892
資本金	2,116,823	1,101,303
資本剰余金	1,904,614	889,094
利益剰余金	7,816,903	6,976,136
自己株式	△8,943	△8,641
評価・換算差額等	294,428	533,726
その他有価証券評価差額金	149,597	426,879
為替換算調整勘定	144,831	106,847
純資産合計	12,123,825	9,491,619
負債及び純資産合計	17,304,277	15,231,530

## ■ 連結損益計算書

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	16,976,086	15,214,714
売上原価	10,953,295	9,661,734
売上総利益	6,022,791	5,552,980
販売費及び一般管理費	4,127,802	3,817,513
営業利益	1,894,988	1,735,466
営業外収益	134,176	128,747
営業外費用	246,614	66,710
経常利益	1,782,550	1,797,502
特別利益	74,618	6,165
特別損失	38,737	13,730
税金等調整前当期純利益	1,818,431	1,789,937
法人税、住民税及び事業税	674,873	804,204
法人税等調整額	104,712	△47,192
当期純利益	1,038,844	1,032,925

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	746,668	873,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,146,005	△830,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,424,235	△43,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85,203	33,876
現金及び現金同等物の増加額	939,695	33,278
現金及び現金同等物の期首残高	1,582,252	1,548,973
現金及び現金同等物の期末残高	2,521,947	1,582,252

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結株主資本等変動計算書

当期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		評価・換算差額等合計
平成19年3月31日 残高	1,101,303	889,094	6,976,136	△8,641	8,957,892	426,879	106,847	533,726	9,491,619
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	1,015,520	1,015,520			2,031,040				2,031,040
剰余金の配当			△198,078		△198,078				△198,078
当期純利益			1,038,844		1,038,844				1,038,844
自己株式の取得				△302	△302				△302
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△277,281	37,983	△239,298	△239,298
連結会計年度中の変動額合計	1,015,520	1,015,520	840,766	△302	2,871,504	△277,281	37,983	△239,298	2,632,206
平成20年3月31日 残高	2,116,823	1,904,614	7,816,903	△8,943	11,829,397	149,597	144,831	294,428	12,123,825

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 貸借対照表

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,688,331	7,485,447
現金及び預金	1,554,683	865,428
受取手形	678,199	698,579
売掛金	3,604,175	3,507,337
たな卸資産	1,724,100	1,449,862
前払費用	13,539	9,353
繰延税金資産	245,227	265,218
その他	868,404	689,668
固定資産	4,994,441	5,170,591
有形固定資産	2,419,520	2,391,973
建築物	807,635	845,211
構築物	77,556	80,464
機械及び装置	502,362	357,428
車両運搬具	1,891	2,857
工具器具及び備品	79,504	97,070
土地	894,270	895,452
建設仮勘定	56,299	113,487
無形固定資産	6,629	7,748
ソフトウェア	2,475	3,593
電話加入権	4,154	4,154
投資その他の資産	2,568,291	2,770,869
投資有価証券	1,118,824	1,326,035
関係会社株式	562,756	562,756
出資金	4,655	6,094
関係会社出資金	773,657	773,657
長期前払費用	5,307	5,571
保険積立金	9,814	40,686
役員権	43,400	43,400
繰延税金資産	63,575	—
その他	57,908	84,275
貸倒引当金	△71,609	△71,609
資産合計	13,682,772	12,656,039

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	2,383,966	3,316,855
支払手形	909,232	889,747
買掛金	333,277	328,178
短期借入金	300,000	650,000
一年以内償還予定社債	40,000	80,000
一年以内返済予定長期借入金	36,064	112,219
未払金	217,464	275,724
未払費用	18,816	80,896
未払法人税等	—	230,272
未払消費税等	—	41,204
預り金	146,020	260,363
製品保証等引当金	12,271	17,151
賞与引当金	288,390	287,280
役員賞与引当金	30,000	26,000
その他	52,430	37,816
固定負債	658,042	928,527
社債	—	40,000
長期借入金	509	37,868
長期未払費用	60,601	51,545
繰延税金負債	—	81,537
退職給付引当金	538,335	580,590
役員退職慰労引当金	58,596	136,985
負債合計	3,042,009	4,245,382
(純資産の部)		
株主資本	10,495,863	7,994,129
資本金	2,116,823	1,101,303
資本剰余金	1,904,614	889,094
資本準備金	1,904,614	889,094
利益剰余金	6,483,369	6,012,373
利益準備金	145,275	145,275
その他利益剰余金	6,338,093	5,867,098
固定資産圧縮積立金	203,286	208,258
別途積立金	4,711,000	4,411,000
繰越利益剰余金	1,423,807	1,247,839
自己株式	△8,943	△8,641
評価・換算差額等	144,899	416,527
その他有価証券評価差額金	144,899	416,527
純資産合計	10,640,763	8,410,656
負債及び純資産合計	13,682,772	12,656,039

■ 損益計算書

科目	当期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	9,432,696	8,671,366
売上原価	6,623,900	5,833,387
売上総利益	2,808,795	2,837,978
販売費及び一般管理費	2,123,115	2,017,212
営業利益	685,679	820,766
営業外収益	505,669	365,373
営業外費用	238,210	40,042
経常利益	953,138	1,146,097
特別利益	1,975	1,260
特別損失	36,046	9,425
税引前当期純利益	919,067	1,137,932
法人税、住民税及び事業税	189,457	421,786
法人税等調整額	60,536	△36,296
当期純利益	669,073	752,442

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書

当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計				
				固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金					
平成19年3月31日 残高	1,101,303	889,094	145,275	208,258	4,411,000	1,247,839	6,012,373	△8,641	7,994,129	416,527	8,410,656
事業年度中の変動額											
新株の発行	1,015,520	1,015,520							2,031,040		2,031,040
事業年度中に係る固定資産 圧縮積立金取崩額				△4,971		4,971					
別途積立金の積立額					300,000	△300,000					
剰余金の配当						△198,078	△198,078		△198,078		△198,078
当期純利益						669,073	669,073		669,073		669,073
自己株式の取得								△302	△302		△302
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)										△271,627	△271,627
事業年度中の変動額合計	1,015,520	1,015,520		△4,971	300,000	175,967	470,995	△302	2,501,733	△271,627	2,230,106
平成20年3月31日 残高	2,116,823	1,904,614	145,275	203,286	4,711,000	1,423,807	6,483,369	△8,943	10,495,863	144,899	10,640,763

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株式の状況 (平成20年3月31日現在)

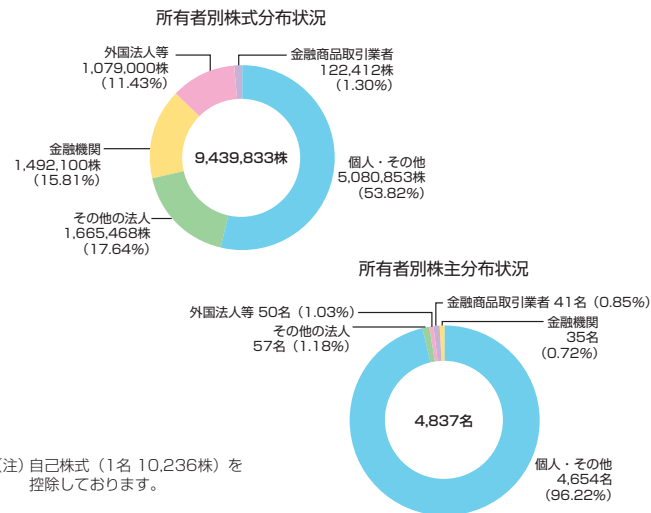
発行可能株式総数 34,600,000株  
 発行済株式の総数 9,450,069株  
 株主数 4,838名

■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
三菱電機株式会社	1,143,240株	12.11%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	455,000株	4.82%
刈田耕太郎	289,222株	3.06%
帝国電機製作所従業員持株会	253,262株	2.68%
徳永耕造	236,800株	2.51%
キャサリンオットーゲーエムベーハー	211,344株	2.24%
ティナオットーゲーエムベーハー	211,344株	2.24%
帝国電機取引先持株会	210,300株	2.23%
入江慶次郎	205,814株	2.18%
江頭憲治郎	205,200株	2.17%

(注) 1. 出資比率は、自己株式 (10,236株) を控除して算出しております。  
 2. 比率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

■ 株式分布状況



(注) 自己株式 (1名 10,236株) を控除しております。

■ 会社概要 (平成20年3月31日現在)

社名 株式会社帝国電機製作所  
 TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.  
 設立 昭和14年 9月12日  
 資本金 21億1,682万3,450円  
 従業員数 連結 1,187名 単体 299名  
 本社 〒679-4395  
 兵庫県たつの市新宮町平野60番地  
 TEL. 0791-75-0411 (代表)  
 ホームページ <http://www.teikokudenki.co.jp/>

■ 役員 (平成20年6月27日現在)

代表取締役社長 宮 地 國 雄  
 常務取締役 中 野 治  
 常務取締役 柴 田 直 行  
 取締役 高 橋 昇  
 取締役 其 原 章 治  
 取締役 中 村 嘉 治  
 取締役 尾 上 喜 一 郎  
 常勤監査役 刈 田 耕 太 郎  
 常勤監査役 苅 尾 耕 蔵  
 監査役 長 谷 川 克 博  
 監査役 曾 我 巖

■ 本社及び主な事業所

- 本社及び新宮事業所  
 〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地  
 TEL.(0791)75-0411(代) FAX.(0791)75-4317
- 国際事業部  
 〒110-0015 東京都台東区東上野5丁目2番5号(下谷ビル6階)  
 TEL.(03)3841-9311(代) FAX.(03)3841-7334
- 東京営業所  
 〒110-0015 東京都台東区東上野5丁目2番5号(下谷ビル6階)  
 TEL.(03)3841-9311(代) FAX.(03)3841-7332
- 大阪営業所  
 〒530-0057 大阪北区豊根崎2丁目1番12号(国道ビル6階)  
 TEL.(06)6360-1171(代) FAX.(06)6315-5018
- 西部営業所  
 〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地  
 TEL.(0791)75-0412 FAX.(0791)75-4190
- 名古屋営業所  
 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1丁目28番19号(名南クイヤマビル7階)  
 TEL.(052)571-3691(代) FAX.(052)561-8097
- 九州営業所  
 〒802-0005 北九州市小倉北区駅前2丁目1番1号(丸美小倉駅前ビル9階)  
 TEL.(093)531-4311(代) FAX.(093)531-4274
- 千葉出張所  
 〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目10番11号(アイビル2階)  
 TEL.(043)222-5036 FAX.(043)222-5037
- 静岡出張所  
 〒417-0862 静岡県富士市石坂279-1(フジックC-101)  
 TEL.(0545)23-2700 FAX.(0545)23-2701
- 北陸出張所  
 〒918-8108 福井県福井市春日3丁目1301-1  
 TEL.(0776)35-8330 FAX.(0776)35-9068
- 東京サービス工場  
 〒340-0004 埼玉県草加市弁天4丁目12番4号  
 TEL.(048)931-7177 FAX.(048)936-1610



■ 国内子会社

- 株式会社協和電機製作所  
 兵庫県養父市大屋町夏梅12番地  
 TEL.0796-69-0022 FAX.0796-69-1852
- 株式会社伸製作所  
 兵庫県たつの市新宮町吉島440番地  
 TEL.0791-75-0315 FAX.0791-75-0455
- 株式会社平福電機製作所  
 兵庫県揖保郡太子町福地745-1  
 TEL.079-277-4094 FAX.0792-77-4023
- 上月電装株式会社  
 兵庫県佐用郡佐用町須安150番地  
 TEL.0790-86-0136 FAX.0790-86-1028
- 株式会社帝和エンジニアリング  
 兵庫県たつの市新宮町平野60番地  
 TEL.0791-75-4162 FAX.0791-75-0619

■ 海外子会社

- TEIKOKU USA INC.  
 7010 Empire Central Drive,Houston, TX 77040-3214  
 TEL.+1-713-983-9901 FAX.+1-713-983-9919
- 大連帝国キヤンドモータボンプ有限公司  
 中国大連市大連三灣工業科技園区  
 TEL.+86-411-8626-9662 FAX.+86-411-8626-9499
- 台湾帝国ポンプ有限公司  
 台湾台北市中山区錦州街5号9楼之1  
 TEL.+886-2-2567-9800 FAX.+886-2-2568-2670
- TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD.  
 43 GUL DRIVE,JURONG,SINGAPORE 629490  
 TEL.+65-6897-7250 FAX.+65-6897-7096
- TEIKOKU ELECTRIC GmbH  
 Numberger str. 24, D-40599,Dusseldorf,Germany  
 TEL.+49-211-700-6778 FAX.+49-211-749-0011
- TEIKOKU KOREA CO.LTD.  
 3F Hannam Tower Annex Building II.#730 Hannam-dong, Yongsan-gu, Seoul Korea  
 TEL.+82-2-790-7012 FAX.+82-2-790-7014



株主優待のご案内

Information

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 弊社では、下記の通り株主優待を実施しておりますので、ご案内申し上げます。

- 株主優待基準日：毎年3月31日
- 内容

※写真は500株以上保有の株主様へ向け  
 お送りします3,000円相当のカタログです。

- 100株以上・・・1,000円相当の図書カード
- 500株以上・・・3,000円相当のカタログギフト
- 1,000株以上・・・5,000円相当のカタログギフト

図書カードにつきましては、株主総会決議通知に同封させていただきますが、カタログギフトにつきましては、7月上旬にカタログを発送させていただきます。

※ご注意：お申込み期限までにカタログ同封の「お申込みハガキ」が到着しない場合、当社指定品を発送させていただくこととなりますので、ご注意ください。

